

《学校教育目標》

人間尊重の精神を基盤として、新しい時代を創造するために、自らを意欲的に高める「心豊かなたくましい子ども」の育成を目指す。

- 基本的な生活習慣を身に付け、きまりを守り、物を大切に子ども
- 心身ともに健康で、意思の強い子ども
- 思いやりの心を持ち、行動できる子ども
- 感動する心と感謝の心をもつ情緒豊かな子ども
- 自分の可能性を信じ、よく学び、よく考え、学びを生かし伸びようとする子ども

めざす学校像

【一人一人に「生きる力」を育む学校】

- 児童・保護者・地域の笑顔あふれる学校
- 美しくきれいな学校
- 当たり前前を当たり前に行う学校
- 組織力を生かしたチームとしての学校
- 子ども【行きたくなる学校】保護者【行かせたくなる学校】地域【協力したくなる学校】

本年度の経営にあたっての留意点

- 全教育活動を通した人権教育
- 積極的な生徒指導
- 特別支援教育の充実
- 職員相互の信頼と協働体制の確立
- 各種書類等の提出期限の厳守
- 児童の安全・安心の確保
- あいさつ・正しい言葉遣いの徹底
- 個人情報の危機管理の徹底
- 学力・体力向上への統一した取組
- 学習規律の徹底
- 規範意識の育成
- けが・事故等の連絡・報告の徹底
- 体罰・不適切な指導への取組

めざす教師像

【信頼と責任と協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団】

- 教師相互が課題を共通理解し、子どものために協働する教師
- 確かな学力定着のため、研鑽に努め、専門職としての力量を磨く教師
- 教育公務員としての自覚を持ち、服務規律を遵守する規範意識の高い教師
- 児童・保護者・地域との連携を深め、信頼と期待に応える温かい教師

目標達成のための具体的方策

A 学級経営の充実

- 受容的・共感的な児童理解を経営の基盤に置き、教師と児童、児童と児童の良好な人間関係を築く。また、楽しく豊かな、しかも規律ある集団生活を目指し、互いによさを認め合い、励まし合う好ましい信頼関係づくりに努める。
- 学級懇談会、授業参観、家庭訪問、連絡帳、電話連絡、学級通信等、日常的に家庭との連携を図るきめ細かな手だての工夫を通して、保護者の願いを受け止め、信頼関係を深めるとともに、学校と保護者の意思の疎通に努める。
- 特別な支援を要する児童に関する適切な指導や必要な支援を行うために、計画的な特別支援教育研修及び関係機関・保護者との連携に努める。

【江川スタンダード（保護者対応編）29年版】

B 確かな学力・体力の向上

- 授業の6つの基礎・基本（1チャイムで始め、チャイムで終わる授業、2具体的に焦点化されたためあての板書、3話し合い活動の充実、4個を見取り個別指導を充実させる机間指導、5ためあてに照らしたまとめと振り返り6自分の考えを表現する機会の確保）を徹底するとともに、学習規律（チャイム席、姿勢、聞き方、発表の仕方、言葉遣い、私語をしない、等）の定着を図る。
- 授業時数の確保と授業内容の充実を図る。
- 朝自習や家庭学習等の計画的・継続的な取組みの充実と共通理解を図る。
- 主題研究（算数）の推進に併せ、思考力・表現力の育成に向けて各学年の実態にあわせた指導の工夫を図る。
- 体育科学習時間や休み時間等を活用した体力向上の取組を図る。
- 理科・体育専科、少人数指導等の指導方法の工夫を図る。

【江川スタンダード（児童ルール編）29年版】

C 心の教育の推進

- 道徳の時間だけでなく、全教育活動を通じて、他人を思いやる心、自他の生命や人権を尊重する心など、互いを認め合い、共に生きていく態度の基盤となる豊かな心をはぐくむ教育の充実を努める。
- 児童の心の状態の把握に努め、教師と児童、児童と児童の円滑な人間関係をつくるよう学級活動においても話し合い活動の充実を図る。
- 子どもの思いや言い分を受け止めながらも、いじめは絶対に許されないということを丁寧に指導する。併せて、生命尊重の観点から、特別の教科道徳の重点項目を設定し、指導の徹底を図る。
- スクールカウンセラーの専門的知識を活用し、児童の心の健全な育成を図る。

【人権教育ハンドブック】

え

…笑顔いっぱい

○あいさつ

○あったか言葉

が

…学校大好き

○早寝・早起き・朝ごはん

○ためあて⇒振り返り

わ

…わたしたち

○なかよく・協力

○手助け